

急増している「ロマンス詐欺」

～「会ったことがない相手」は信じない～

SNS（会員制交流サイト）やマッチングアプリを通じて知り合った相手から、恋愛感情を利用してお金をだまし取る「ロマンス詐欺」の相談が増えています。

最初は何気ないあいさつや趣味の話から始まり、毎日、何度も会話をするようにやり取りを重ねるうちに、相手をととても身近に感じるようになり、相手から「特別な存在」「将来を一緒に、と考えている」などと言われ、いつの間にか相手を信じてしまうことがあります。

ロマンス詐欺では、信頼関係ができたころに、お金の話が出て来るのが特徴です。

「海外で荷物が止まった」「家族が急病で困っている」「投資で一緒に利益を出そう」など、理由は様々（さまざま）ですが、いずれも早く対応するよう急がされることが多くあります。

「少額なら大丈夫」と思って送金しても、次々と別の名目で請求され、気付いたときには多額の支払いになっているケースもあります。

見分けるポイントはいくつかあります。

①会う約束をしても何度も理由をつけて避ける②プロフィール写真が不自然に魅力的③連絡はSNSだけで電話番号を教えない④日本語が不自然⑤投資や暗号資産の話にすぐ誘導する—といった場合は注意が必要です。

相手の勤務先や住まい、家族のことを詳しく聞いても、答えをはぐらかすことがあります。電話や動画通話ができて安心とは言えず、実際に会えない状況が続くときは、いっそう慎重に見極めましょう。

また、恋愛感情が入ると相手を信じたい気持ちが強くなり、冷静な判断が難しくなります。ひとりで抱え込まず、家族や友人など身近な人に話してみてください。第三者の目で見ると、不自然な点に気付けることがあります。

送金を求められた場合は、相手の名前、連絡先、振込先、やり取りの画面などを保存しておく、相談の際に役立ちます。

SNSの公開範囲や、見知らぬ人からの連絡を受ける設定を見直しておくことも、被害を防ぐ助けになります。少しでも「おかしい」と感じたら、すぐに送金せず、相手の言葉をうのみにしないことが大切です。

もし被害に気付いたら、できるだけ早く振込先の金融機関に連絡し、送金停止や口座凍結の可能性を確認してください。

ロマンス詐欺は、誰にでも起こり得る身近なトラブルです。「会ったことがない相手からお金の話が出たら、まずは詐欺を疑う」—。この意識を持つことが、被害を防ぐ第一歩です。

筆者ひとこと

「おかしいな」「心配だな」と感じたら、一人で抱え込まず、できるだけ早く奈良県県民くらし相談センター消費生活相談課（消費生活センター）や、お住まいの市町村の相談窓口へご相談ください。小さな違和感の段階で相談することが、被害を防ぐ一番の近道です。（県民くらし相談センター消費生活相談課）